



今日からできる事・ 設計時にできる事

これからのライフスタイルの省エネのソフトとハード

エネルギー	項目	ソフト面	ハード面
家電	テレビ	見ないときは主電源を切る。	省エネマークを確認し、省エネ性の高い高効率な機種を購入する。
	ビデオ	非使用時は、コンセントを抜く。	
	冷蔵庫	熱いものは常温で冷ましてから入れる。放熱面に物をのせない。 物を詰め込みすぎないようにする。	
	暖房便座	季節に合わせて設定温度を変更する。	
給湯	給湯	洗面時の湯の設定温度を調整する。キッチンでの湯の設定温度を調整する。	エコジョーズやエコキュートなどの高効率給湯機と組み合わせる。サヤ管ヘッダー工法や太陽熱利用を採用する。
	風呂	入浴後はフタを閉める。	
照明	照明	点灯時間を短くする。	LEDや電球型蛍光ランプに変える。
冷房	エアコン	冷房設定温度を高く設定する。	省エネ性の高い機種を購入する。通風など自然エネルギーの利用に努める。





節水でエコライフを実感

1回の入浴に14分間シャワーを使用すると、6回で約1立方メートルの水を使うことになります。

これを一次エネルギー換算すると8.5MJになり、電力量の約1kWhに相当するので、100Wの電球1灯を約10時間つけっぱなしにしていることに等しいといえます。

■雨水タンクを設置しよう

雨水タンクを設置すると節水になります。雨水は、屋根などに降った雨水を集め樋などの配管を伝ってタンク集水口のフィルターや濾過装置でゴミなどを除去したうえでタンクに貯水します。屋根の面積が大きいと集水量も大きくなりますが、一般的な住宅では0.3立方メートルから30立方メートル程度です。

タンクの水でトイレの洗浄や掃除、洗車や散水、植物への水やりなどに使います。雨水を洗濯に使うと、汚れ落ちが良いとも言われています。

節水により水道料金が安くなると、それに連動している下水処理料金も安くなり、ダブルでメリットが出ます。

雨の日は憂鬱な気分になりがちですが、雨水タンクにどんどん水が貯まることを想像すれば、豊かで晴れやかな気持ちにさせてくれます。

■節水型家電製品・節水器具で手軽に節水

「節水」というと、今までの快適さの弊害になるイメージがありましたが、最近は、単に水を使わないというよりも、今までの快適さを維持したまま知らないうちに節水しているということが多くなりました。

それは、節水型の製品が多く開発され一般に定着したからです。具体的に挙げると、節水シャワー、節水蛇口、節水型の電化製品、節水トイレなどです。

これらを使用することで、手軽に節水できます。

